

授業科目名	社会心理学	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	北岡 裕也	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>基本的臨床技能であるコミュニケーション能力を養い、医療職としての心構えを身に付ける。また、臨床現場で求められる人材になるために欠かせない人間関係の有り方を実践やグループワーク等を交えて講義する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>効果的なコミュニケーション方法について傾聴・主張を身につける。 状況に応じた言動を身につける。 一般社会常識だけでなく、将来セラピストとして活躍する際に役立つ、接遇やマナーのスキルを習得する。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	PT/OTを目指す皆さまへ・学生の厳守事項について				
第 2 回	PT/OTを目指す皆さまへ・社会人としてのマナー				
第 3 回	自分を理解しよう：自分を知る				
第 4 回	自分を理解しよう：自分の性格と傾向・態度				
第 5 回	コミュニケーションの力を育もう（みる力）				
第 6 回	コミュニケーションの力を育もう（きく力）				
第 7 回	コミュニケーションの力を育もう（伝える力）				
第 8 回	自己管理・自己実現（スケジュールと健康の管理）				
第 9 回	社会人としてマナーとしてのコミュニケーション				
第 10 回	臨床で役立つコミュニケーションスキル①				
第 11 回	臨床で役立つコミュニケーションスキル②				
第 12 回	コミュニケーション実技①				
第 13 回	コミュニケーション実技②				
第 14 回	コミュニケーション実技③				
第 15 回	コミュニケーション実技④				
評価方法	<p>授業での課題提出(80%)：S(100~90点)授業の内容を十分に説明でき、自己の課題を明確にすることができる。A(89~80点)授業の内容を概ね説明でき、自己の課題を明確にすることができる。B(79~70点)授業の内容を不十分ながら説明でき、自己の課題を学ぶことができる。C(69~60点)授業の内容を学ぶことができ、自己の課題を不十分ながら知ることができる。D(60点未満)Cのレベルに達していない。実技試験（20%）</p>				
教科書 参考図書	〔教科書〕 PT/OTのためのコミュニケーション実践ガイド第2版（医学書院）				
履修上の 留意点	臨床実習で必要な医療人としての必修項目です。真剣に取り組みましょう。				
メッセージ	グループワークでは積極的に参加してください。				